



金谷城山桜(島根県指定天然記念物)

- 金谷城山桜・・・表紙、2ページ
- 美都町今昔 二川小学校・・・3ページ
- 町内施設紹介 悠遊館・・・3ページ
- 美都町内イベント情報・・・4ページ
- 地域協議会・・・4ページ
- ヤマネ出現・・・4ページ

(次ページへつづく)

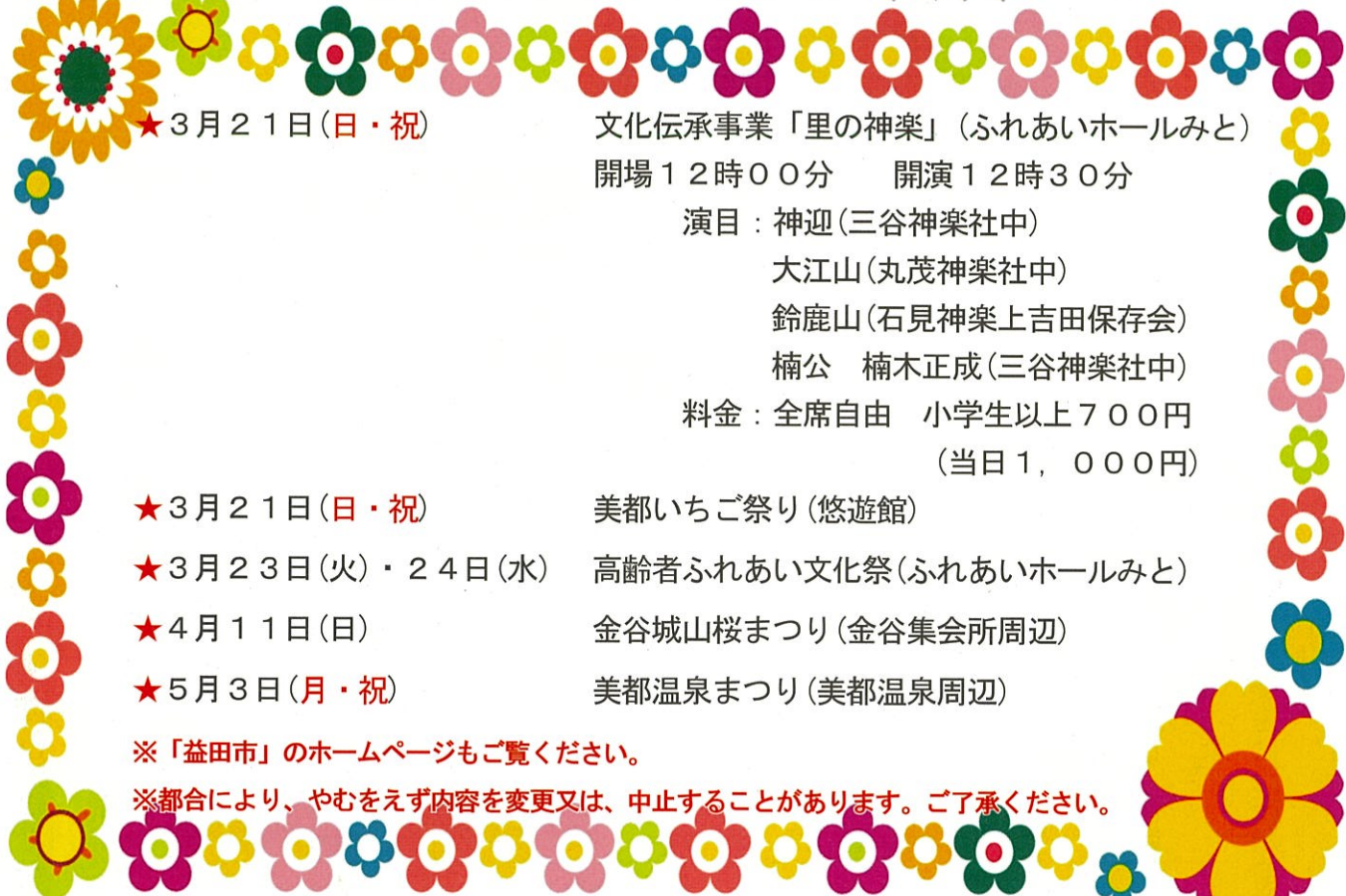
この桜は、入船山城を築いた澄川氏が、金谷の地に移り住んだ際に城の出丸部分(宇下丸茂)にあたる所に植えたものと伝えられ「城山桜」と呼ばれています。幹は根元から50cmの所で4本に枝分かれしており、分枝下の幹周りは6.67m、根元周囲7.15m、樹高15mで、枝張りは東西20m、南北20mに広がっています。近世になると澄川氏は大森銀山の直轄地「津毛丸山鉦山」を管理する山年寄りを務め、桜の地はその後、澄川氏の墓所となりました。

金谷の城山桜

益田市美都町山本金谷の集落をのぞむ尾根中段の高台に、島根県指定天然記念物、推定樹齢500年以上といわれるエドヒガン(江戸彼岸)の巨木『城山桜』が聳え立っています。例年4月初旬には淡紅白色の小さな一重の花が満開になります。

編集・発行 益田市美都総合支所 地域振興課 〒698-0103 益田市美都 茂一八〇三十一 ☎(〇八五)五二一三一 FAX(〇八五)五二一三二〇

★ 美都町内イベント情報 ★



- ★3月21日(日・祝) 文化伝承事業「里の神楽」(ふれあいホールみと)
開場12時00分 開演12時30分
演目: 神迎(三谷神楽社中)
大江山(丸茂神楽社中)
鈴鹿山(石見神楽上吉田保存会)
楠公 楠木正成(三谷神楽社中)
料金: 全席自由 小学生以上700円
(当日1,000円)
- ★3月21日(日・祝) 美都いちご祭り(悠遊館)
- ★3月23日(火)・24日(水) 高齢者ふれあい文化祭(ふれあいホールみと)
- ★4月11日(日) 金谷城山桜まつり(金谷集会所周辺)
- ★5月3日(月・祝) 美都温泉まつり(美都温泉周辺)

※「益田市」のホームページもご覧ください。
※都合により、やむをえず内容を変更又は、中止することがあります。ご了承ください。

美都地域協議会について
平成22年2月5日に開催された協議会の内容についてお知らせします。

☆主な協議内容

※地区振興センター・公民館の運営体制について、次のとおり市長から諮問がありました。7月末日を目途に協議会として答申書を提出する事となりました。

諮問要旨

平成22年度からは、地区振興センター・公民館の運営体制として、各地区振興センター長・公民館長1名、嘱託職員2名及び地域活動の支援を行う地域コーディネーターとして、総合支所地域振興課に1名(正規職員)配置する事により、体制構築を図ることとした。

※学校給食センター(仮称)建設整備事業基本構想(案)について説明を受けました。
※平成22年度の予算要求主要事業について協議しました。

協議会の会議録は、美都総合支所・美都各地区振興センターで閲覧する事が出来ます。

ヤマネ出現
押し入れの毛布を取り出す際に、「ヤマネ」(天然記念物)が一緒に出てきたそうです。



急に起こされ、壁に張り付いたヤマネ

山の中よりも断然安全で、あったかいねぐらを見つけた「ヤマネ」。現在も押し入れの毛布に包まって冬眠中。

ふるさと会員への登録や、当情報誌についてのご意見やご要望、または、紹介したいモノや人、グループなどがございましたら是非お知らせください。
なお、ふるさと会員の登録は無料です。お問い合わせ等は左記電話番号またはメールアドレス
Oriki-m@city.masuda.lg.jp まで
担当: 中島

中国地方最大級の巨木も平成12年秋の調査で、昭和50年代以降に相次いで襲った豪雪や台風、酸性雨などの影響で大人2、3人が入れるくらいの空洞が根元部分にでき、さらに幹の腐りなどから、花数が減り、幹の欠損、倒伏の心配もされる状況にあることが分かりました。



威厳漂う立ち姿

平成13年に町は早速に対策を講じることとして、益田市市の樹医さんに委託して、空洞内のバーナー殺菌・殺菌剤による腐朽措置さらに大量の竹炭投入による調湿・防虫対策を施し、腐朽箇所や折れそうな枝幹は鉄



老木に芽吹いた新しい生

筋やステンレスネットで補強し内部を殺菌・空洞とした「空蓋(くうがい)法」による治療を施す再生手術が行われました。

また、古くなった支柱の取り換え、周辺のテングス病に罹患したソメイヨシノの伐採、施肥や活性剤が投入されました。

再生手術の甲斐あって翌年の平成14年春には元気に見事な満開状態になりました。



のどかな春のひとときが楽しめます



地元の方によるバザー

美都町 今昔

☆二川小学校(二川地区)

二川小の校舎は現校舎が3代目です。2代目は、現校舎の向かいの高台にあった旧中学校の校舎です。

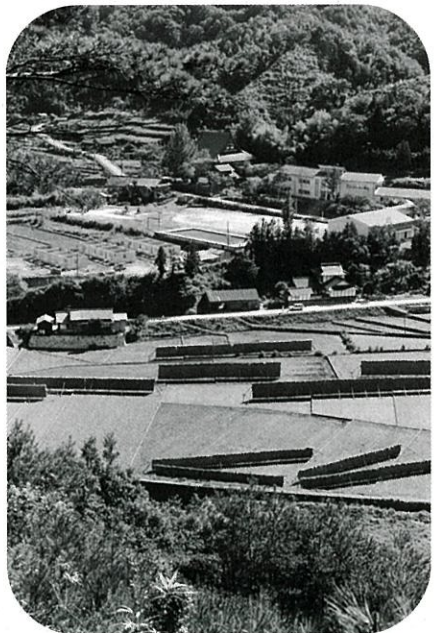
初代は、県道浜田美都線大峠隧道の上、緑が丘に宇津川と板井川の間地点ということで、建っていました。



後に小学校となった二川中学校(昭和39年)

私(小原静也さん)が通ったのは、昭和30年から36年で、今回は冬の暖房の思い出です。3年生までは、約120cm角の火鉢でした。毎年12月

には木枠の内に赤土をペタンペタン。4・5年生の時は薪ストーブ、6年生の時に石炭になりました。



小学校周辺の様子(昭和49年)

火鉢の時は、毎朝用務員室から火種をもらって来ていたと思います。

ストーブになってからは、児童が枯れた小枝(オドロ)を直径5cm、長さ10cm程度の焚付け用に準備し火を熾します。

昼食前の4時間目が始まる頃には、火鉢やストーブの周りにはアルミの弁当箱がギッシリ並び、沢庵の臭いが教室中に漂いました。

理科室や音楽室には暖房器具が無いので、同じように弁当を仕掛けて

移動し帰ってみると、煙が充満し弁当が真っ黒焦げと言う事も……。

学校給食が始まる以前、4年生頃まで冬場には、毎日お母さん方の味噌汁を頂きました。具の多い日、少ない日、猪・豚・鶏の日、卵の多い日と楽しみでした。同時に、ストーブの煙突に家から持って来た餅を擦り付けて出来た、ペラペラの煎餅も美味しかった記憶です。

ストーブを使った悪戯は沢山しました。が、それはナイショです……。



二川小学校(現在)の竣工を祝う行列(昭和59年)



田中農園
直売所

悠遊館

「地域の人の集う場所になれば」という田中さんの思いで平成14年12月、仙道の国道191号線沿いに完成した「悠遊館(ゆうゆうかん)」。店内には田中農園の農作物が並んでいます。県外のお客様も多く、イチゴの季節には地方発送もしています。また、3月21日(日)には「美都いちご祭り」も行われますので、詳しくは「美都いちご」で検索してください。電話 0856-52-3196 ・ E-mail: inabaya@iwami.or.jp



祭りに欠かせない『石見神楽』

その後も引き続いて観察や施肥等の維持管理、地元住民の協力による除草・散策路の整備等の環境整備がされて、4月初旬には近隣の若い方達の協力による『桜まつり』も行われ、毎年、県内外から千数百人の方々が来訪しています。普段は閑散としている金谷集落ですが、山里に遅い春を告げる「城山桜」が満開となるこの時期、ひとときの賑わいをみせています。